

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室ことのは		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 5日		～ 令和 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 5日		～ 令和 8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人ひとりの興味・関心に応じて、日々のプログラムを柔軟に変えていき、子ども達のやる気を引き出ししていく。	個々の気持ちに寄り添いながら、子ども達の気持ちを引き出し、主体的な取り組みができるようにしている。 子ども達の「楽しい」気持ちを引き出し、自発的な言葉を引き出ししていく。	独自のツールを作成して子ども達の特性の理解を深めたり、職員間でより情報共有を行いやすくして、支援力の強化を図る。
2	保護者の気持ちに寄り添いながら、適宜情報共有を行い、子ども達の理解を深められるようにする。	日々の療育の申し送りをし、子ども達の事業所での姿や成長をしっかりと伝えていく。 必要に応じてミーティングを行い、保護者へのアドバイスを通して、前向きな気持ちを持てるようにする。	アセスメントシート等を使用して、より保護者との情報共有の機会を増やしていく。
3	自然に囲まれた見晴らしの良い高台にあり、虫取りや散策を行える環境にある。	虫取りをしたり、散歩に行ったりと、その日の子ども達の気持ちに合わせて、自由に課外活動のプログラムを取り入れている。 個別の取り組み以外にも、小集団での課外活動の中でルールのある遊びを取り入れ、社会性を伸ばす取り組みを行っている。	社用車を活用して、近隣の公園での課外活動や地域のイベント等に参加を取り入れるようにしている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動での取り組みが少ない。	個別活動での取り組みが充実している分、集団活動での取り組みが少なくなる。	短い時間でも、小集団での活動を取り入れることで、社会性の成長を促す。 外部へお出かけしたり、地域のイベント等へ参加して、地域交流の機会を作る。
2	環境整備が行き届いていない部分がある。	環境整備にかけられる時間が多くはない。 環境整備を考えてはいるが、積極的に行動できていない。	事業所内の環境整備ができていない箇所を把握して、日々、その個所の環境整備の時間を取り入れる。 環境整備の目標をたてる。 環境整備担当を設ける。
3	外部の研修参加が少ない。	研修に関する情報が少ない。	各種研修の情報収集を行い、職員にその情報を提供していく。 事業所で必要と考えられる研修がある際には、適正に応じて、職員に研修参加を促す。